Web応用省エネルギー管理システム

木田幸夫*

要　旨

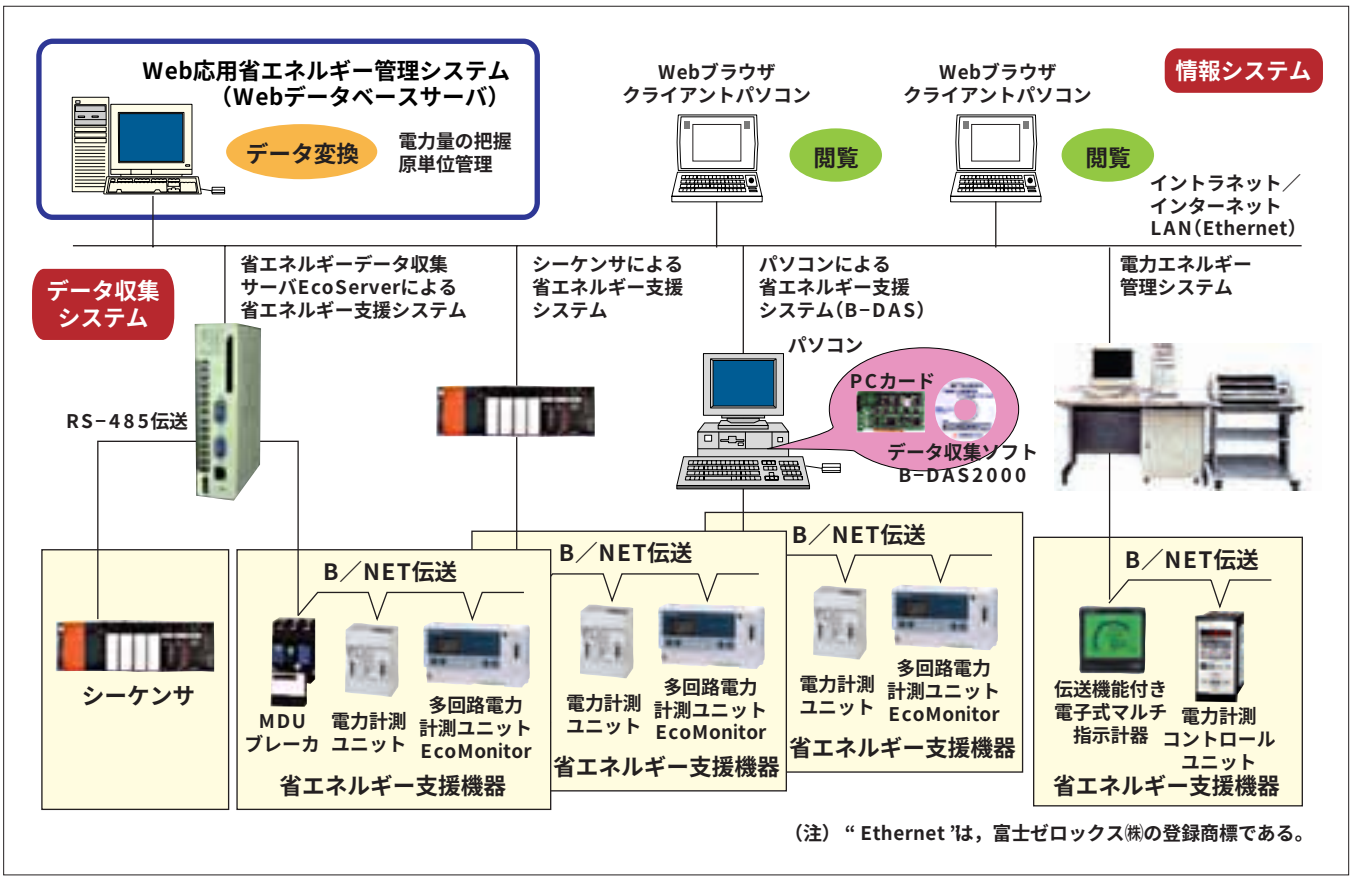
1999年４月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(通称“省エネ法”)が改正されて以来，エネルギー管理を巡る情勢は大きく変化しており，また，2001年度においては，さらに第１種エネルギー管理指定工場への指導強化の方向に動いている。

これらのニーズに対応するシステムを構築する場合，計測端末機器情報をイントラネット／インターネットに接続しWebブラウザで情報を総合的に共有化することが有用である。

三菱電機では，福山製作所での省エネルギー活動の経験をベースに，部門別，工程別，設備単位での電力使用量の把握及び原単位管理を実施するWeb応用省エネルギー管理システムを用意した。

このシステムは，データの共有化を既設のイントラネット／インターネットを利用し，下位の省エネルギーデータ収集サーバや電力エネルギー監視システムからのデータを利用しグラフ化，帳票出力，保存することで，工場全体，部門別，工程別，設備単位での電力使用量の把握及び原単位管理を低コストで提供でき省エネルギー管理を支援する。

システム構築に際して“従業員全員参加への配慮”として表示内容を工夫し，併せて，“既設イントラネット／インターネットを利用する”ためにデータの転送をCSV(Comma Separated Value)ファイル形式を採用し，他のシステムへの影響を低減することを考慮した。



Web応用省エネルギー管理システムのイメージ図

このイメージ図は，Web応用省エネルギーシステムのシステム全体構成を示す。
部門別，工程別，設備単位での電力量の把握と原単位管理を実現し，Web配信を利用してデータを共有化するシステムを低コストで提供し省エネルギー管理を支援する。

*福山製作所